

平成30年度 第2回四日市市立図書館協議会会議要録

1. 日 時 平成31年1月15日(火) 午前10時30分～午前11時50分
2. 場 所 四日市市立図書館 3階 会議室
3. 出席者 松井真理子会長、福永智子副会長、岡田博子委員、
加藤誠治委員、嶋津美和委員、竹下すま子委員、藤田一樹委員、
渡部通廣委員
(会長、副会長ののち、五十音順)
図書館：大森陽司館長、田中嘉隆副館長、村林知可子管理係長、
水谷園子奉仕係長、中村成孝奉仕係主幹
4. 欠席者 中井孝幸委員
5. 傍聴者 2人
6. 議事録概要
 1. はじめに
 2. 議題
 - (1) 平成30年度図書館事業報告等(平成30年4月～12月)について
 - (2) 平成30年度図書館事業予定等(平成31年1月以降)について
 - (3) 市立図書館学習室の利用時間延長に関する試行結果について
 - (4) その他
 3. おわりに

1. はじめに

【館長挨拶】

2. 議題

図書館協議会条例第5条により、松井会長が議長となり、議事を進める。

【出席者確認・会議成立確認】定数9名、出席8名。

【傍聴者確認】2名。

【非公開範囲の決定】適宜、諮るものとされた。

2. 議題

(1) 平成30年度図書館事業報告等(平成30年4月～12月)について

(図書館資料1説明)

委員：P.3 各学校の館内見学の所要時間はどのくらいか。また、社会見学の一環であろうか。

図書館：1時間くらいである。

図書館：学校の場合は社会見学であるが、幼稚園の場合は遠足である。また、特別支援学校が来館したが、社会に慣れる目的で1時間ほど滞在した。

委員：「ザ・男の読み聞かせ」の今まで実施した回数はどれほどか。また、事前に研修会はあるのか。

図書館：本年度で5回目の実施となる。研修会は実施していない。本年度は多くの応募があり、すぐに定員に達した。毎年読み手として参加する人もいるなど、人気があり定着しつつある。

委員：各個人のやり方で読み聞かせするなど、面白い取り組みといえる。

委員：読み手の年齢層はいかがか。

図書館：30歳代から60歳代まで幅広い。

委員：P.3 その他「調べ学習に協力」は、個人または学校単位か。

図書館：学校である。

委員：P.3「教職員の研修」を受け入れているが、これは学校では「初任者研修」と位置付けられているものである。受け入れ可能人数は何人か。

図書館：受け入れ可能人数は上限3人となる。これは中学生の職業体験も同じである。

(2) 平成30年度図書館事業予定等(平成31年1月以降)について

(図書館資料2説明)

委員：ストーリーテリング入門講座は3回セットであるが、いずれか1回のみ受講することはできるのか。どのような層の受講生が応募するのか。

図書館：3回連続講座である。ストーリーテリングを始めたい方が受講する。

委員：講師の下澤先生の話はお薦めである。

委員：啓発が目的か。受講者にてサークル化する方向性があるか。

図書館：まず、このような活動をしていることを知っていただきたいと思っている。また、活動をしている方が減少している中、聴くだけではなく、活動に参画いただければとも思う。

委員：冬の絵本ライブラリーとはどのようなものか。

図書館：年に2回ほど、おはなし会の特別版を開催している。いずれのボランティアの会でもおはなし会の拡大版を実施している。

(3) 市立図書館学習室の利用時間延長に関する試行結果について

(図書館資料3説明)

委員：高校生が増加しているというが、利用の様子はいかがか。また、来年度でデータがそろい、検証するとのことであるが、延長は継続されるのか。

図書館：随時巡回しているが、全員、学習室では静かに勉強している一方、休息や会話したいときはスナックコーナーを利用し、区別しているようである。空席に荷物を置かず人に譲るなどの当方からのお願いに協力いただいている。

図書館：学習室の延長の今後は、直ちに時間延長というわけではなく、新図書館に向けた議論の中で検討されていくと思われる。

委員：時間延長すると高校生、社会人とも増加すると思われるが、学生だけが増加し社会人が減少するとは不思議である。思い当たることはないか。

図書館：各高校の期末テストが集中する時期は、ヒアリングはしていないが社会人が混雑を遠慮するように思われる。

委員：座席数と実際の人数と差がある。6人席に完全に座らないのか。

図書館：空席があっても、人と人の間の席であれば、荷物を置かずに他の人が座れるよう協力を依頼しているが、それでも遠慮して帰る利用者がいる。

委員：学習室は高校生以上使用できるとのことであるが、児童室を利用する中学生以下については、満席となれば学習室を利用できるのか。

図書館：実際に児童室内の座席が満席となることもあるが、高校入試前が顕著である。その場合、学習室や一般閲覧席にて学習している中学生の姿を見るが、それぞれ満席でない限り黙認することがある。しかし一般利用者から苦情があれば中学生に移動をお願いしている。

委員：幼児も走り回る中、児童室での勉強はつらいのではないか。図書館側も精一杯であろうが、現在の図書館ではまだまだ問題がある。新図書館建設の際、このような場に出された意見を反映させていただきたい。

委員：この会議の前、館内を散策したが、早い時間であったので人も少なかった。空席がある限りは中学生の学習室利用を認めてもよいのではないか。

図書館：参考資料「声のポスト」にて⑧の意見をいただいている。中学生に学習室の利用を求める意見であるが、将来的に検討したい。

委員：土曜日など限定して（この会議の会場である）視聴覚ホールを学習室の利用者向けに開放してはいかがか。

図書館：週末も視聴覚ホールを会場としたイベント等の予定が意外とある。開放を期待させて、来館したら利用できずがっかりさせてしまう場合が予想され、開放が難しいと思われる。

委員：学習室の占有率は高校生風が6割ほどである。残りの社会人は、常連の方だろうか。

図書館：常連はいるが、そうでない方が多いように思われる。

委員：中心市街地拠点施設整備基本計画における新図書館構想において、開館時間および閉館時間についてはどのように記述されているのか。

図書館：特に具体的に記述されていないが、延長する方向が示されている。

委員：一般閲覧室にて長期に座っている利用者がいるが、本当に閲覧しているのか。そのため空席が少なく、他の利用者に影響があるのではないか。

図書館：特に苦情をいただいているが、図書館ゆえに読書を楽しむなど長時間過ごされる方はいる。時間の制限は難しいと思われる。

図書館：静かに過ごされる方に声はかけていないが、マナーの悪い方、体調が悪いと思われる方には、職員が巡回した際、声をかけている。

(4) その他

図書館：新図書館に関する報告を行う。この図書館は昭和48年に開館して、46年経過している。その間、平成17年3月には「市民の求められる市立図書館像について」提言があったほか、「新しい図書館のあり方検討会」などがあり、10年以上前から新図書館の議論が重ねられてきた。平成28年度からは「中心市街地拠点施設整備基本計画策定委員会」において、市役所東側で新図書館を中心とした複合的な施設を整備する場合、どのような施設を造るのか議論が行われ、「中心市街地拠点施設整備基本計画」が平成30年1月にまとめられた。

市役所東側について様々な意見をいただく中で、今年度の8月定例会議では5カ所程度（JR四日市駅周辺、市役所東側、同近傍の民有地、基本構想策定中の近鉄駅前広場の中での近鉄四日市駅周辺、鶯の森公園）を候補地とした調査費を要求する予算を上程したが、再考せよとのことで認められなかった。そして11月定例会議において実現性の高い3カ所（JR四日市駅周辺、市役所東側、近鉄四日市駅周辺）を候補地とした調査費を要求する予算は可決された。今後、政策推進部で調査を実施する。

委員：近鉄四日市駅周辺とのことであるが、どのあたりか。

図書館：近鉄四日市駅の東側または西側を中心としたエリアである。各候補地とも複数案を作成し議論される予定である。

委員：市役所東側は更地である一方、近鉄四日市駅およびJR四日市駅の場合は、現在ある施設・設備の移動など調整が必要であり、さらに時間がかかるということにはならないか。

図書館：両駅等とも協議が必要となるなど、市だけでは動けない部分がある。

委員：新図書館について、図書館協議会として果たす役割があると思われるが、どのように考えているか。

図書館：これまでの中心市街地拠点施設整備基本計画の策定においては、本協議会の意見を持っていき議論されてきた。今後は候補地が変われば建物の面積も変わり、設備も再検討する必要があると思われる。同様に本協議会の声を取りまとめて、意見を上げていきたい。

委員：新しい図書館が市民のためのものとなるように、建物の細部については図書館に関係する者の代表である委員のほか、図書館に詳しい先生方とともに、協議会の役割を果たしていく必要があると思われる。

図書館：現在のところ新図書館に関する議論のスケジュールはわからないが、来年度は急ぎよ協議会を開催し、出席をお願いする可能性があるかもしれない。

委員：今までの意見を大切に、参考にされたい。

図書館：昨年度にされた議論は継続していく。一方、候補地の選定や状況の変化に伴い変わるものもあるが、それに対しても意見を述べていきたい。

委員：調査の内容について示されたい。

図書館：国の規制をクリアできるか、どのようなものを建てることのできるのか、何階まで許容されるのか等の計画を立てることができるのかどうか。さらに周辺の駅と調整できるか。現在、予算が議決したばかりであり、調査委託業務の内容を調整していると聞いている。

委員：できれば候補地3か所を示す資料をいただきたい（資料配付）。

委員：中心市街地活性化を推進する大枠の中に図書館が入っているイメージを持っているが、それは変更なく場所に限った問題であるのか。

図書館：中心市街地拠点施設整備において議論されるものであるという基本的な考えは変わらない。

委員：図書館部分が縮小されたり、余分なものが付加される可能性はあるのか。

図書館：時代の流れの中で、必要性があるとなったら、そのような話になるかもしれない。しかし図書館整備の方向性は変わらないと思われる。

委員：情報があれば、その都度いただきたい。

（参考資料「声のポスト」）

図書館：「声のポスト」は館内3か所に設置されており、その意見の中から将来的に検討が必要とされるものを掲載して参考資料とした。

委員：市民は新しい図書館に期待していると思うが、掲載されている意見はピックアップされたものなのか。

図書館：基本的には掲載しているが、個人的な話は省いた。将来への要望があるが、新図書館への期待がうかがえる。

委員：②Wi-Fi サービスは必要であろう。他市図書館を調査されたい。新図書館へ向けてどのようなサービスができるのか、また実施すればどのようなマイナス点があるのか。特に高額な費用を要しないと思われる。

図書館：Wi-Fi サービスは、たいていの新しい図書館には整備されている。中心市街地拠点施設整備基本計画にも記述されている。賛成の意見が多い一方で、本を読みに来館する人にとってはマイナスであるとの意見もある。現在、調べ学習ではパソコンを用意している中で本当に必要であるか、他都市を調査しつつ検討していきたい。

委員：⑪は、司書は図書館の顔であり、その対応を市民はよく見ているということで嬉しく思う。市民から見える司書の姿は部分的であるが、カウンター裏など奥で行われている努力が表出したものを評価されたのだと思う。このような意見を大事にしてほしい。図書館に関心を持って図書館を利用しているということだと思う。今できることは今、対応すべきではないか。できないことは新図書館へ反映していただけるよう意見を上げてほしい。

会長：その他に意見はないか。

委員：ボランティア仲間からの意見であるが、図書館近くの湯の山線高架下の

交差点に押しボタン式の横断歩道がある。側道から交差点へ出ようとする際、側道を突然横断する歩行者や自転車があり、危ない思いをする。事故が心配であり、信号がほしい。

また、市立図書館、あさけプラザ図書館、楠交流会館図書室の3館の閉館日が月曜日となっており揃っている。協力体制を組んでいるとのことであるが、ずらすことはできないか。いずれかの図書館が開館していると利用者も月曜日に図書館へ行けるほか、我々ボランティアも協力できる日が増える。

図書館：いずれも経緯を調べたい。休館日については、楠交流会館図書室は公民館であり祝日は休館日であるなど、館によって違いがある。

館長：図書館の利用に障害がある人へのサービスについて、市立図書館の要綱は視覚障害者のみを対象にしている。これを肢体不自由等を含めて、障害により読書が困難な方を対象に含めた要綱について、図書館内で検討中であり、今後紹介したい。

会長：他になければ議題を終了としたい。

4. おわりに

(図書館) 第3回協議会を3月頃に開催させていただきたく、事前に各委員の予定をお聞きしたい。